

平成29年10月20日

報道機関各位

北九州市港湾空港局
環境局**北九州港におけるヒアリの確認について**
(平成29年9月15日・10月2日・10月12日の続報)

平成29年9月15日に太刀浦第1コンテナターミナル照明塔付近でヒアリ7匹が確認されて以来、10月2日と10月12日にも確認されましたが、更に今回、同じ発見場所に設置したトラップによる調査(10月11日設置、10月17日回収)の結果、10月18日に2匹が新たにヒアリと確認されました。

これらの結果を受けて、10月19日、専門家同行のもとで、現地においてアスファルトの割れ目の奥まで調査したところ、数百匹以上のヒアリらしきもの(働きアリ、幼虫・さなぎを含む。)が発見され、確認の結果、「ヒアリ」であることが判明しました。

なお、これまでのところ、他のコンテナターミナル(太刀浦第2コンテナターミナル及びひびきコンテナターミナルにおいてヒアリは発見されていません。

1 本市等の今後の対応について

10月19日に専門家によって発見されたヒアリについては、ただちに殺虫剤散布による集中的な防除を実施するとともに、周辺にまんべんなく殺虫剤を散布した。

ただし、アスファルト深部にヒアリが生息していないか、今週末(予定)に照明塔付近のアスファルトを掘削し、ヒアリの生息状況を確認した上で、掘削部にコンクリートを充填する。

さらに今後、太刀浦第1コンテナターミナルを中心としてアスファルトの割れ目の緊急点検を行い、割れ目が発見されたところについては、割れ目を埋めるコンクリート充填工事を行う。

なお、19日に庁内連絡会議及び専門家によるヒアリ講習会を開催し、情報を共有した。

一方で、改めて北九州港関係者へ注意喚起を促すとともに、環境省と協力して今後もトラップ調査を継続する。

2 ヒアリの繁殖等について

19日に確認されたヒアリは、幼虫やさなぎが確認されており、本市としては、上記1の対応を通じて、コンテナターミナル内外での調査や生息環境をなくすための工事等を行い、定着及び健康被害防止を徹底する。

3 問い合わせ先**■発見の経緯・港湾での対応に関すること**

港湾空港局港営部港営課 担当：檜山、松田

電話：093-321-5951 FAX：093-331-5501

■特定外来生物ヒアリの情報提供・収集に関すること

環境局環境監視部環境監視課 担当：中野、江藤

電話：093-582-2239 FAX：093-582-2196

【今回ヒアリが確認された場所】



太刀浦第1コンテナターミナル照明塔の下

【確認されたヒアリ】



※本市と環境省の写真データは記者発表システムにアップします。

北九州港におけるヒアリの確認について

(平成 29 年 9 月 15 日、10 月 2 日、10 月 12 日の続報)

<北九州市同時発表>

平成 29 年 10 月 20 日 (金)
環境省自然環境局
野生生物課外来生物対策室
代表 03-3581-3351
直通 03-5521-8344
室長 曾宮 和夫
室長補佐 八元 綾
担当 知識 寛之
九州地方環境事務所 野生生物課
直通 096-322-2413
課長 鏝 雅哉
担当 立岩 沙知子

平成 29 年 9 月 15 日にヒアリ (*Solenopsis invicta*) が確認された福岡県北九州市北九州港の太刀浦第 1 コンテナターミナルにおいて、10 月 2 日及び 10 月 12 日の続報のとおり、同箇所にてヒアリが確認されていることを受け、専門家による現地調査を 10 月 19 日に行いました。同コンテナターミナル内のアスファルト割れ目を専門家が確認したところ、ヒアリが確認されたのでお知らせします。

確認されたヒアリは全て薬剤で殺虫していますが、残存個体がアスファルト深部にも生息している可能性があることから、今後緊急点検及び防除を行う予定です。

なお、6 月の国内初確認以降、これまでのヒアリの確認事例は 10 月 20 日現在で 12 都府県、合計 22 例で、本件は 18 例目の事例の続報となります。

1. 発見場所

福岡県北九州市北九州港太刀浦第 1 コンテナターミナル (以下「第 1 CT」という。)

2. 今回確認されたヒアリについて

第 1 CT の 9 月 15 日以降ヒアリが確認されている箇所において、10 月 19 日に九州大学ヒアリ研究グループ所属の専門家が北九州市及び九州地方環境事務所職員同行のもと、現地調査を実施しました。専門家が第 1 CT 舗装面のアスファルトの割れ目を調査したところ、まとまった数のヒアリが確認されました。

確認した個体数：数百個体以上（働きアリ、幼虫・サナギを含む）

発見した場所：第1 CT 照明灯の周囲のアスファルト面にひびが入った箇所

対応：確認されたヒアリについては、ただちに殺虫液剤による防除を実施し、周辺の生息の可能性があると考えられるアスファルト割れ目等にも薬剤を散布した。

※前回までに経緯については、平成 29 年 9 月 15 日、10 月 2 日、10 月 12 日各報道発表資料参照してください。

9 月 15 日発表資料：<http://www.env.go.jp/press/104585.html>

10 月 2 日発表資料：<http://www.env.go.jp/press/104648.html>

10 月 12 日発表資料：<http://www.env.go.jp/press/104690.html>

なお、環境省が実施している 2 km 調査（全国のヒアリが確認された地点における周辺 2 km 程度の調査）において、10 月 11 日に当該箇所に設置し、17 日に回収したトラップにおいてもヒアリが 2 個体（発見時には既に死亡。専門家による同定は 10 月 18 日。）が発見されています。

また、これまでのところ、北九州港の他のコンテナターミナルではヒアリは発見されていません。

3. 今後の対応について

当該箇所のアスファルトの深部にさらにヒアリが生息している可能性があるため、北九州市が今後付近のアスファルトを掘削し、ヒアリ生息状況を確認、殺虫処理を行った上で、掘削部にコンクリートを充填する予定です。

また、当該地において、今後も北九州市と連携しながら継続してヒアリのモニタリング及び防除を実施する予定です。また、環境省は、北九州港において、国土交通省港湾局と協力して、既に中国、台湾等の定期航路を有する全国 68 港湾における目視及びトラップによる調査及び全国のヒアリが確認された地点における周辺 2 km 程度の調査を行っており、引き続き調査を実施していきます。

○ヒアリ確認時の現場及び防除の様子

